

平成 23 年 10 月 7 日

各 位

大和証券株式会社

「投信積立サービス」開始のお知らせ ～くらしに役立つ情報コンテンツ「お金を学ぶ」サイトも開始します～

大和証券株式会社(以下、当社)は、平成 23 年 10 月 16 日(日)より、投信積立サービスを開始いたします。また、本日より、くらしに役立つ情報コンテンツ「お金を学ぶ」サイトを開始いたします。

投信積立サービスでは、月々1,000円から積立することができ、ドル・コスト平均法によるリスクを抑えた投資が可能です。さらに、株式会社大和ネクスト銀行(以下、大和ネクスト銀行)が提供する「資金お取寄せサービス」を利用することで、入金する手間がなくなります。

また、「お金を学ぶ」サイトでは、結婚や育児など、ライフステージにあわせたお金に関する情報を得ることができます。

今回のサービス拡充により、資産形成をお考えのお客様にとって、よりよい環境を提供できるものと考えております。この機会に是非当社でのお取引をご検討ください。

詳細は下記のとおりです。

記

I. 投信積立サービスの開始

投信積立サービスは、ご指定の投資信託を、毎月一定額自動的に買い付けるサービスです。

1. 特徴

その1 月々1,000円から積立することができます。

積立金額を1,000円から設定することができますので、「毎月一定額を、無理なく貯めたい」とお考えのお客様にお勧めのサービスです。また、複数銘柄設定することで、少額での分散投資が可能となります。

その2 ドル・コスト平均法により、リスクを抑えることができます。

毎月定期的に積み立てることで、ドル・コスト平均法によるリスク低減効果を得ることができ、価格変動リスクを抑えることが可能です。

その3 積立日を自由に設定することができます。

積立日は自由に設定することができますので、給料日などにあわせた投資が可能です。また、毎月の積立とは別に、最大年2回まで増額することができますので、ボーナス支給日などにあわせた積み増しが可能です。

その4 「資金お取寄せサービス」との連携で入金する手間がなくなります。

大和ネクスト銀行に口座をお持ちのお客様なら、資金お取寄せサービスを利用することで、お客様のご指定の金融機関から毎月一定額を大和ネクスト銀行にお取寄せしたうえで、自動的に買い付けることができます。

なお、その際の入金手数料は無料です。

【大和ネクスト銀行の新サービス】

大和ネクスト銀行では、10月16日(日)6:00より、資産形成をお考えのお客様向けに「資金お取寄せサービス」を開始いたします。

資金お取寄せサービスは、ご指定の金融機関のご本人名義口座から大和ネクスト銀行のお客様の円普通預金口座に、定期的に一定額を入金するサービスです。

入金手数料は無料です。

詳しくは大和ネクスト銀行ホームページ(<http://www.bank-daiwa.co.jp/>)をご覧ください。

2. サービス開始日時

平成23年10月16日(日) 6:00～

3. サービス概要

ご利用いただける方	当社に口座をお持ちのお客様 * お取引コースや個人、法人は問いません。 * 積立投資に関する契約の締結および「投信積立サービス」の契約申込等が必要です。
申込窓口	パソコンのみ
取扱銘柄	オンライントレード取扱銘柄のうち、当社で指定した銘柄 * 当初は118銘柄を予定しております。
積立単位	1,000円以上、1円単位
積立日	毎月1日～31日の中から任意に設定可能 * 休日や存在しない場合は翌営業日に繰り越します。 * 同一銘柄で複数の積立日の設定が可能です。

II. 「お金を学ぶ」サイトの公開

「お金を学ぶ」サイトは、くらしに役立つお金に関する情報を紹介するサイトです。当社ホームページでなたでもご覧いただくことができます。

1. 特徴

その1 ライフステージにあわせた**お金に関する情報を得る**ことができます。

結婚や育児などにどのくらいお金がかかるのか、また、こういった手続きが必要なのか・・・いざという時に役立つ、生活に密着した情報を得ることができます。

また、企業が提供する制度や税金といった、制度に関する情報を得ることもできます。

その2 同世代の**お金事情を知る**ことができます。

まわりの同世代の人たちはどれくらい貯蓄しているのか、また、将来のために今何をすればいいのか・・・気になる情報を得ることができます。

2. サイト公開日

平成 23 年 10 月 7 日 (金)

【サイトイメージ図】 ※画面はイメージです。

The image shows a screenshot of the 'Learn Money' website and a detailed infographic. The website interface includes sections for 'Events', 'Generations', and 'Products'. The infographic, titled '年金生活' (Pension Life), compares the monthly expenses of a couple in their late 60s (36.6 million yen) with the public pension amounts for different types of households. It shows that a high-income household without children needs 13.4 million yen more, a company employee household needs 4.5 million yen more, and a self-employed household needs 23.5 million yen more. It also notes that a self-employed household needs 14.6 million yen more than the average pension income.

項目	金額 (月額)	差額 (不足額)
夫婦2人のゆとりある老後の生活費 ※1	36.6万円	-
高齢無職世帯の支出額 ※2	27.7万円	13.4万円足りない!
会社員世帯の公的年金額 ※3	23.2万円	4.5万円足りない!
自営業者世帯の公的年金額 ※4	13.1万円	23.5万円足りない!
平均機軸世帯の平均的収入 ※5	36.6万円	14.6万円足りない!

※1 生命保険文化センター「生活保障に関する調査(平成22年度)」ゆとりある老後のために必要と考えられている生活費の全体平均
※2 総務省統計局「家計簿からみたファミリーライフ(平成23年8月)」世帯主が60歳以上の二人以上の無職世帯、消費支出(2,458,870円)と税・社会保険料の支払額(31,003円)の合計額
※3 厚生労働省発表「平成23年度の年金額は0.4%の引下げ」より、厚生年金の月額(夫婦2人の老齢基礎年金を含む標準的な年金額)、前提は夫の厚生年金は平均的収入(平均機軸世帯36万円)で厚生年金40年加入、妻は専業主婦で国民年金40年加入
※4 夫婦とも、国民年金40年加入の場合

当社は今後も、お客様に親しまれる証券会社、お客様より選ばれる証券会社を目指して、ご満足いただけるようサービスの向上に努めてまいります。

以上

銀行代理業について

大和証券(銀行代理業者)と大和ネクスト銀行(所属銀行)との関係

- (1) 大和証券は大和ネクスト銀行を所属銀行とした銀行代理業者です。
- (2) 大和証券が行なう銀行代理業の種類は、以下のとおりです。
 - ・ 円普通預金及び円定期預金の受入れを内容とする契約の締結の媒介
 - ・ 内国為替取引(振込・振替)を内容とする契約の締結の媒介

大和証券が取扱う金融商品や保険商品との違いについて

大和ネクスト銀行の円普通預金・円定期預金は預金保険制度の対象ですが、大和証券が取扱う預金等以外の商品(有価証券・保険商品)は、預金等でないため、預金保険法に規定する保険金の支払の対象とならず、元本の返済の保証はございません。また、当該商品に係る契約は大和証券または保険会社と締結するものであって大和ネクスト銀行が契約相手ではありません。

手数料等およびリスクについて

大和証券で取扱う金融商品等へのご投資には、各商品ごとに所定の手数料等をご負担いただく場合があります。(国内株式委託手数料は約定金額に対して最大 1.20750%(税込)、ただし、最低 2,625 円(税込)、ハッスルレートを選択しオンライントレード経由でお取引いただいた場合は、1 日の約定代金合計が 300 万円までなら、取引回数に関係なく国内株式委託手数料が 3,150 円(税込)、以降、300 万円を超えるごとに 3,150 円(税込)が加算、投資信託の場合は銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等)

また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の上場有価証券等書面または契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をお読みください。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 108 号

加入協会：日本証券業協会、社団法人日本証券投資顧問業協会、社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会